

2025 年度・芸術工学実習(D)6 のすすめかた (情報環境デザイン学科)

■ テーマ

共通課題：「わたしの芸術工学」

■ 参加教員

小俣（主担当）・栗原・小林・小鷹・中川・塙・針貝・松宮

※本年度 D6 映像（栗原）は独立した形で実施します。別途案内を確認してください。

■ 実習概要

この実習は、共通のテーマのもと、芸術工学における分野別の表現技法などを、より特化したコンセプトのなかで学びます。これまで習得した知識と技能を活かしつつ、各自がテーマに即した表現技法を選択し、あるいは組み合わせ、応用的な発想で課題制作を行います。課題制作においては、レクチャー、相談、プレゼンテーション、中間発表を踏まえ、芸術工学ならではの可能性や多様性について考察し、多角的な視点での知見をもとに、より高い完成度の作品制作を目指します。

これまでの実習とは異なり、特定の専門領域を定めるものではありませんので、学生個々が挑戦したい領域で制作をすすめることを推奨します。評価は、制作物とプレゼンテーションの双方に対して、同等の重みづけを行います。後者に関しては、とりわけ、異なる分野の人にも制作物の意義が伝わるようなプレゼンテーションについて高い評価を与えます。

■ 課題「わたしの芸術工学」について

「芸術工学」という言葉が意味するものは、時代によっても、それを使う人によっても少しずつ変わります。それでも「芸術工学」という言葉には、「芸術」だけ、あるいは「工学」だけでは到達し得ないものが、「芸術工学」という切り口によってはじめて可能になる、というような含意があるはずです。本課題では、概要で述べたように、学生の選択した領域で自由に制作を行なってもらいますが、それらがいかなる意味で「芸術工学」であるかを、意識しながら制作をすすめてください。プレゼンでは、通常の実習と同様に、個々に問題設定を行い、適切な手続きで制作物の意義（新規性・有用性など）を説明しますが、自らの制作物がどのような観点で「芸術工学」であるかに必ず触れてください。

■ スケジュール

第1週：9/29 ガイダンス、課題について [M101]

第2週：10/6 学生の発表1 (3グループに分れて(*1), 2分) (*1)

第3週：10/13 実制作・相談 [M101 など]

第4週：10/20 実制作・相談 [M101 など]

第5週：10/27 学生の発表2 (3グループに分れて(*1), 3分) (*2)

第6週：11/3 実制作・相談 [M101 など]

第7週：11/10 実制作・相談 [M101 など]

第8週：11/17 講評会 (全員, 3分) [M101]

【教員グループ】

グループA：埴・小林（工学系・デザイン系）

グループB：中川・松宮・小鷹（メディア系）

グループC：針貝・小俣（美術系）

	グループA	グループB	グループC
発表1の場所	M101	A203	A205
発表2の場所	A205	M101	A203

(*1*2) 3グループの中から発表したいグループで発表。発表1・発表2において、授業開始前に、所定の発表場所へと集合すること。原則的に、発表グループの調整は事前に実施することはない。

(*2) このときのグループは2週目から変更されることがある。

■ 成績

1週目から8週目に取り組む課題90点（発表1：20点、発表2：20点、講評会：50点）、研究室配属後の出席など10点

■ 相談の際の注意事項（3・4・5・7週）

- ・ 相談方法（対面 or 遠隔、事前予約要 or 不要など）は、教員によって異なります。事前に、特設の授業ページ（imd.nagoya）に、相談方法の一覧を表示しておくので、確認しておくこと。

■ 注意事項

- ・ 実制作・相談の回は、最低一人の教員へ相談を行うことで出席とみなされます（教員の側で名簿のチェックを行います）。
- ・ 病欠の場合は、事後に診断書を提出してください。
- ・ 授業に関する質問や診断書の提出は小俣(omatahidehiko@sda.nagoya-cu.ac.jp)まで